

## 平成26年3月期 中間決算について

平成25年11月1日  
JFE鋼板株式会社

平成25年9月中間期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(百万円未満切捨て)

### 連結経営成績

(%表示は対前年同期増減率)

	売上高		経常利益		特別損益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月中間期	33,633	10.8	1,005	623.0	△ 1	-	598	-
24年9月中間期	30,354	△ 11.4	139	△ 92.0	△ 14	-	17	△ 97.4

注 連結子会社数 25年9月中間期 5社、24年9月中間期 5社

持分法適用関連会社数 25年9月中間期 1社、24年9月中間期 2社

(百万円未満切捨て)

### (参考)個別経営成績

(%表示は対前年同期増減率)

	売上高		経常利益		特別損益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月中間期	30,185	9.6	742	-	-	-	536	-
24年9月中間期	27,552	△ 10.2	△ 67	-	△ 13	-	△ 50	-

### 【当中間期の概況】

住宅・非住宅着工の緩やかな回復傾向に加え、住宅価格の先高感や消費税引き上げ前の需要増もあり、当中間期の建材関係需要は前年同期比増となっております。また、太陽光発電関連の需要は堅調に伸び続けております。

これに対し、積極的な受注活動を展開するとともに、生産能力の増強をはかった結果、当中間期の売上高は33,633百万円と前年同期比10.8%の増収となりました。

### 【当中間期の損益】

高付加価値商品の拡販に注力するとともに、上記の受注活動及び生産能力増強、特に、カラー鋼板やグループを挙げての太陽光発電関連エコガル(高耐食・高加工性めっき鋼板)の拡販・増産に努めた事で、当中間期の経常利益は1,005百万円と前年同期比7倍の866百万円増、当期純利益は598百万円と前年同期比35倍の581百万円増となりました。

### 【当期の見通し】

今後の経済環境は本格的復興政策の推進やデフレからの早期脱却、経済再生への取り組みもあり、改善の兆しが見え始め、国内建材市況も堅調に回復すると期待されております。

しかしながら、原材料価格のアップ、季節要因による操業度ダウン等の減益要因により、下半期の収益は厳しい状況が想定されます。このため、下記の拡販活動に注力いたします。

- 1) 高付加価値商品の拡販:ビューボード(ホワイトボードとスクリーンを兼ね備えた壁材)、オプトクリーン(光触媒機能プレコート鋼板)、サニータ(ゴキブリ忌避鋼板)、加工性の優れたガルフレックスカラー、エコガルカラー(耐食性・耐アルカリ性の優れたカラー鋼板)、タフマックス(耐食性、対候性の優れたカラー鋼板)など。

- 2) 太陽光発電関連の需要取り込み。

- 3) 熟練労働者不足のお役に立てる商品群の拡販:フレームキット(構造部材)、ハイデッキ(床)、フットロック(屋根)、プレーゲル(屋根)など。

一方では、フル生産をしても需要に応えきれない生産設備も出始めており、さらなる生産能力の拡充にも努めて参ります。

以上